

保存版

医学系研究科
看護学専攻
博士前期課程

2025年度

履修要項
スタートガイド



目次

学年暦.....	3
大学の理念・使命.....	4
教育目標.....	4
大学の三つのポリシー.....	4
看護学専攻博士前期課程の概要.....	5
看護学専攻博士前期課程の構成.....	6
01 履修要項	
授業科目の履修方法.....	8
成績評価.....	9
既修得単位の認定.....	9
研究デザイン発表会.....	10
修了要件・学位授与.....	10
学位審査.....	10
在学期間.....	10
進級・休退学等.....	10
長期履修制度.....	11
02 科目・担当教員一覧	12
03 教員の主な研究内容	18
04 科目ナンバリング	20
05 主な規程等	20
06 スタートガイド	
新入生やることリスト.....	21
各種チュートリアル.....	22

令和7年度 看護学専攻博士前期課程 学年暦

日付	行事
2025年4月2日(水)	入学宣誓式・新入生履修指導(春季)
4月4日(金) ～ 8月4日(月)	前期授業
8月5日(火) ～ 9月30日(火)	夏季休業
8月27日(水) ～ 8月28日(木)	第1回学位論文研究発表会 第1回研究デザイン発表会
10月1日(水)	学位授与式(秋季)
10月1日(水)	入学宣誓式・新入生履修指導(秋季)
10月2日(木) ～ 2026年2月16日(月)	後期授業
10月25日(土) 10月26日(日)	学園祭(若鮎祭) ※授業は休講
12月23日(火) ～ 2026年1月4日(日)	冬季休業
2月18日(水) ～ 2月20日(金)	第2回学位論文研究発表会 第2回研究デザイン発表会
2月17日(火) ～ 3月31日(火)	春季休業
3月19日(木)	学位授与式(春季)

[備考]

- 1) 定期健康診断の日程は、別途通知します。
- 2) その他、学年暦に変更があった場合は、その都度通知します。

大学の理念・使命

理念

滋賀医科大学は、地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。

使命

大学院は、医学及び看護学の領域において、優れた研究者及び高度な知識と技術をもつ専門家を養成することを目的とし、もって、医学及び看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とする。(国立大学法人滋賀医科大学大学院学則第2条より抜粋)

教育目標

医学系研究科看護学専攻博士前期課程では、本学の使命のもと、高度な知識と技術をもつ専門家を養成し、教育・研究・実践の場で高度な専門性とリーダーシップを発揮し、看護学の発展と人々の健康の向上に寄与することができる次のような能力を備えた人材育成を目指しています。

● 深い学識と倫理観

高度な研究能力及びその基礎となる豊かな教養と深い知性、確固たる倫理観を基盤にした人間性を涵養する。

● 高度な専門性とリーダーシップ

保健・医療・福祉の専門職との協働において、看護専門職としての意思決定と主体的行動が執れるとともに、さまざまな状況においてリーダーシップを発揮する能力を養う。

● 独創性と国際性

看護上の問題発見力・論理的思考力を発揮し、主体的かつ独創的に研究活動を推進するとともに、国際的・学際的に活躍する能力を養う。

● 社会への貢献

複雑で多様な人々の健康問題に柔軟に対応し、看護学の発展と人々の健康に貢献できる看護専門職を育成する。

大学の三つのポリシー

① アドミッション・ポリシー

求める学生像

本学の理念に基づき、学生が深い学識と確固たる倫理観を備え、かつ、科学的思考に依拠して行動できる看護職の育成を目指し、教育・研究・実践の場においてリーダーシップを発揮し、活躍できることを目標としています。看護学を修める医療人として必要な学識・能力・技能を修得する素養を持ち、看護学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めています。

1. 看護学の専門知識と理論・実践力を修得することに努力を惜しまない者（主体性）
2. 社会人としての常識を持ち、社会的責任を認識している者（社会人基礎力）
3. 看護学の探求に意欲があり、学生や教員、多様な専門職者及び地域の人々と協力して学修を進められる者（コミュニケーション力、表現力）
4. 看護学に関する基本的な知識と教養を有し、さらに発展的思考の獲得に努力を惜しまない者（専門職者としての基礎学力、思考力）
5. 知的な好奇心を有する者（主体性）

入学者選抜の基本方針

● 研究コース

1. 各専門分野の基礎知識と思考能力を問う「専門科目」試験を実施する
2. 科学的研究の遂行に必要な語学力を測る「外国語（英語）」の筆記試験を実施する
3. 研究意欲や倫理観等、研究者としての資質や適性を確認する「面接」を実施する

● 看護管理コース・高度実践コース

1. 各専門分野の基礎知識と思考能力を問う「専門科目」試験を実施する
2. 志望する分野での研究課題等についての基礎的知識や研究意欲等を測るための「口述試験」を課す

② カリキュラム・ポリシー

看護学専攻博士前期課程では、論理的思考力、高度な専門性、医療人としての確固たる倫理観が持てるような教育システムを設けています。

教育課程の編成の方針

外国語を含む看護研究方法論を体系的な枠組みとし、共通科目と専門科目を位置づける。専門科目に関しては、講義と演習を組み合わせ、能動的な学修の機会を設定し、専門的知識のみならず倫理観、実践能力および国際的視野を養成する。

教育課程における教育・学修方法に関する方針

1. 1専攻3コース（研究コース、看護管理コース、高度実践コース）を設け、中間発表の機会による横断的な指導体制とする
2. 共通科目と領域別科目をおき、高度な専門性と論理的思考に基づく課題発見力と問題解決能力を養う。
 - ① 看護学研究者として必要な基礎的知識と研究遂行能力、研究の倫理性について、3コースの共通科目をとおして養う
 - ② 領域別科目では、各専門領域の専門的知識と研究実践能力もしくは高度実践能力を養う
3. 上記に加えて、コースの特徴に合わせた科目を設ける。
 - ① 研究コースでは、さまざまな研究課題に応じた最先端の研究手法や国内外の知見を教授し、看護学の発展に寄与しうる課題に関する特別研究をとおして看護学を教授することにより、創造的かつ自立した研究遂行能力を養う
 - ② 看護管理コース、高度実践コースでは、各専門領域に特化した高度な看護実践力を身につけるため、課題研究及び演習や実習をとおして、臨床看護実践における複雑な課題に対して科学的エビデンスに基づく高度な実践力を養う

学修成果の評価の方針

学修の成果は、シラバスに記載された学修目標を、課題レポート、資料作成、プレゼンテーション、演習や実習への参加状況等で科目の特性、授業形式を踏まえて多面的な評価方法によって客観的に評価します。学位論文の審査は、透明性・厳格性を確保するために公開にて行い、知識・能力・発展性について評価します。

③ ディプロマ・ポリシー

看護学専攻博士前期課程においては、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、必要な単位を修得のうえ、審査及び試験に合格し、次のとおり優れた知識と能力を身につけている学生に学位（看護学専攻：修士（看護学））を授与します。

看護学の発展と人々の健康の向上に寄与するための科学的知見の生成と専門的見地から社会に顕在・潜在するニーズの発見や課題解決ができる次のような能力を備えた人材育成を目

指しています。

1. 看護学における科学的思考と知的誠実さに基づき学術的妥当性を吟味した研究計画を立案し遂行することができる
2. 研究や看護実践において人権を尊重し権利の擁護のために倫理的問題の解決に取り組むことができる
3. 研究や看護実践における課題を見出し、専門的思考に基づき問題解決に向けて取り組む能力を有するさらに、リーダーシップを発揮しながら多職種と協働することができる
4. 自らの専門性と看護専門分野の知見を応用し、あらゆるライフサイクルにある看護の対象者への健康課題解決のための革新的方法の開発と知見生成を創造的かつ意欲的に取り組むことができる
5. 専門性のある学問分野としての看護学を、国際的視野をもって理解することができる

看護学専攻博士前期課程の概要

教育研究上の目的

看護学専攻博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力と人間性を備えた優れた研究者を育成するとともに、高度な先進的看護を支える確かな専門知識と看護技術をもつ優れた看護の専門家を養成し、併せて看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することができる人材の育成を目的としています。

カリキュラムの特徴 Features of the Curriculum

看護学専攻博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力と人間性を備えた優れた研究者を育成するとともに、高度な先進的看護を支える確かな専門知識と看護技術をもつ優れた看護の専門家を養成し、併せて看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することができる人材の育成を目的としています。

3つのコース

看護学専攻では研究コース・高度実践コース・看護管理コースの3つのコースを設けており、研究コースは2つの研究部門に分かれます。詳細は「看護学専攻博士前期課程の構成」をご確認ください。

自由に選択できる多様な授業科目

各自の研究テーマに合わせて、全領域の共通分野の授業科目と各研究領域の講義科目より、研究領域を越えて自由に選択することができます。

きめ細やかな研究指導

修士論文の作成に関連して、専攻の領域を越えたきめ細やかな指導が受けられるように配慮し、中間発表の場（研究デザイン発表会）を設けています。

教育方法の特例

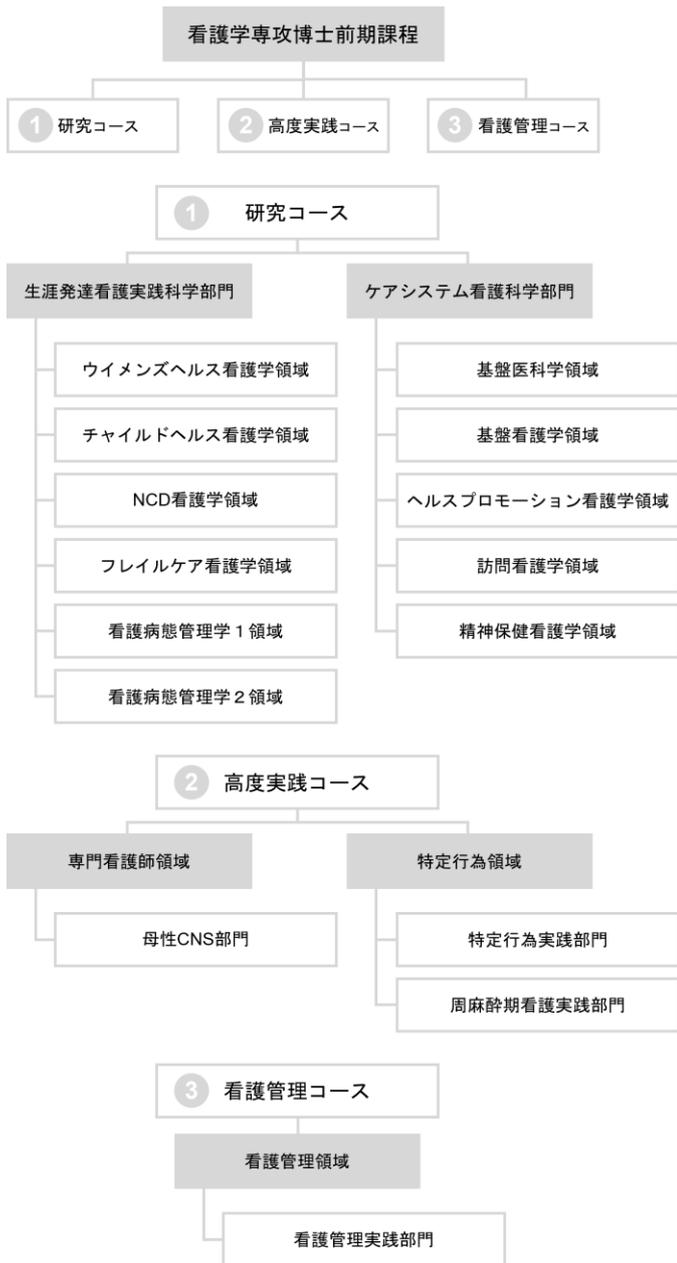
医学系研究科では、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に講義・研究指導を行うように配慮しています。

長期履修制度の導入

職業を有している等の事情により、修業年限（2年）を超えて一定の期間（3年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを願いだしたときは、審査によりこれを認めることができる制度を設けおり、入学時又は第1学年在学時の定められた時期に願ひ出ることができます。

看護学専攻博士前期課程の構成

看護学専攻博士前期課程は、次のような構成になっています。



研究コース—生涯発達看護実践科学部門

「生涯発達看護実践科学」とは、多様な健康課題を抱える対象者を生涯発達する人として捉え、科学的研究手法に基づく提言により切れ目ない看護実践の確立を目指し、一人ひとりの生涯にわたる最善の健康・療養支援のあり方を探求する看護学と定義します。

看護の対象者を生涯発達する人として捉える意味を理解し、切れ目ない看護を展開する生涯発達看護実践科学部門は、人々にとって最善の健康状態を実現するための看護のあり方を示すことができる人材を育成することを目標とし、対象者が有する健康課題から病態を理解し必要な看護ケアに関する知見を蓄積した後、広く社会への還元ができることを目指します。すなわちエビデンスの実践応用として位置付けられる「研究者から臨床家へ」「臨床家から対象者へ」の過程に対応可能な研究者の育成を実現していきます。

研究コース—ケアシステム看護科学部門

「ケアシステム看護科学」とは、看護の対象者である個人の健康を環境との相互作用を含めて理解し、健康課題の解決に向けて科学的な手法を用いることにより、コミュニティケアと看護管理の視点から、持続可能なケアシステムの創成を探究する看護学と定義します。

ケアシステム看護科学部門は、病院、施設、地域の垣根を越えて、人々が生活を営む場の特性に応じたケアシステムの在り方を示し、広く社会に発信できることを目指しています。健康課題の解決に向けて、住民、保健・医療・福祉専門職、行政などの地域社会を構成する多様な人々と協働してケアシステムの創成を探究し、その成果を社会へ実装できる研究者の育成を実現していきます。

高度実践コース—専門看護師領域（母性CNS部門）

専門看護師は、看護師として5年以上の実践経験をもち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

母性CNS部門では、「母子および家族への支援のほか、女性ならではのライフサイクルや健康への援助を含む質の高い看護ケアを提供する」という、母性看護学が目指す理念を実現化する教育を行い、周産期・ウイメンズヘルス分野で高度な看護実践を担える人材の育成を実現します。

高度実践コース—特定行為領域

特定行為領域は、看護の様々な実践領域での特定行為を担い得る卓越した知識と技術を有する高度実践看護師を育成し、その役割モデルを示すことで、実践領域における看護の専門性向上と臨床看護の発展に寄与することを目指す領域です。看護学専攻博士前期課程在学中に厚生労働省認可の特定行為研修が受講でき、最短2年で修士の学位と特定行為研修を修了することができます。

● 特定行為実践部門

特定行為研修は、必要な特定行為区分を1区分から履修できません。臨床で培った実践からの学びと看護学を基盤に、慢性期・急性期・在宅領域において、特定行為などの高度な看護実践者として必要な臨床判断能力や技術の習得だけでなく、専門職的自律性の高い看護職の育成を目指しています。また、看護学専攻博士前期課程で学ぶことにより、看護学と看護の専門性を顧み、新たな臨床看護技術として特定行為実践構造や教育方法などの課題（開発）に取り組む基礎能力を養います。

● 周麻酔期看護実践部門

超高齢化社会を迎え、手術医療においてもハイリスク患者が増えています。また、周麻酔期の扱う範囲が術前、術中、術後の全身管理、鎮静下検査、疼痛緩和ケア、急変時対応など手術室外にも広がり、こうした麻酔領域に対応できる周麻酔期特定看護師の育成が急務となっています。

本部門では「特定行為実践部門」を急性期、特に周麻酔期分野に特化させ、周麻酔期看護実践に必要な特定行為7区分（呼吸器（気道確保）・（人工呼吸療法）・（長期呼吸療法）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連）が履修できます。

これらの特定行為研修に加えて麻酔科学、臨床薬理学等に精通した専門的知識や麻酔看護の知識・技術の習得を目指した科目を履修します。また、周麻酔期看護学として意義のある課題解決型の研究に取り組み、今後の医療の進歩によって生じる新たな課題に対応できる能力を培います。

看護管理コース—看護管理領域

看護管理コース—看護管理領域は、保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応できる幅広い知識をもち、看護管理能力やリーダーシップ能力、看護職の指導的能力及び倫理観を備えた看護管理実践者を育成し、質の高い組織的看護サービスの発展に寄与することを目指す領域です。

01 履修要項

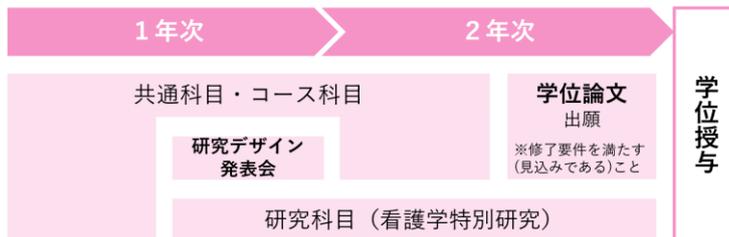
授業科目の履修方法

科目・担当教員一覧は p.12～ >

● 研究コース (生涯発達看護実践科学部門・ケアシステム看護科学部門)

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	6 単位	2 単位	8 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目		4 単位	—	
研究科目	看護学特別研究	10 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】



共通科目全領域の必修科目 6 単位、選択必修科目 2 単位、当該研究部門・領域の必修科目 4 単位、共通科目全領域の選択必修科目、選択科目並びに他の研究領域の特論から 8 単位以上、及び研究科目である看護学特別研究 10 単位の、合計 30 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－専門看護師領域 (母性 CNS 部門)

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	6 単位	—	6 単位以上
	特定行為	2 単位	—	—
コース科目		24 単位	—	—
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		42 単位以上		

【履修モデル】



共通科目・全領域の必修科目 6 単位、選択科目から 6 単位以上、共通科目・特定行為領域の必修科目 2 単位、当該コース・領域の必修科目 24 単位、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の、合計 42 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－特定行為領域 (特定行為実践部門)

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	2 単位	—	4 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目	専門科目	6 単位	—	10 単位まで
	特定行為実践	4 単位	—	
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】

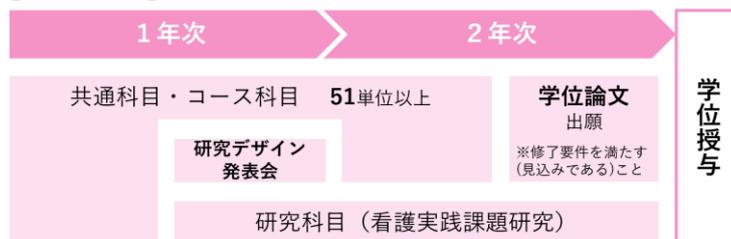


共通科目・全領域の必修科目から 2 単位、選択科目から 4 単位以上、コース科目特定行為領域専門科目から 6 単位、特定行為実践の必修科目から 4 単位、専門科目と特定行為実践科目の選択科目から 10 単位まで、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の、合計 30 単位以上を修得してください。

● 高度実践コース－特定行為領域（周麻酔期看護実践部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	2 単位	—	16 単位以上
	特定行為	—	—	
コース 科目	専門科目	6 単位	—	20 単位まで
	周麻酔期看護実践	7 単位	—	
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		55 単位以上		

【履修モデル】



共通科目・全領域の必修科目から 2 単位、選択科目から 16 単位以上、コース科目特定行為領域専門科目から 6 単位、周麻酔期看護実践の必修科目から 7 単位、専門科目と周麻酔期看護実践の選択科目から 20 単位まで、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の合計 55 単位以上を修得してください。

● 看護管理コース－看護管理領域（看護管理実践部門）

区分・部門・領域		修了要件単位数		
		必修	選択必修	選択
共通科目	全領域	10 単位	—	6 単位以上
	特定行為	—	—	
コース科目		10 単位	—	—
研究科目	看護実践課題研究	4 単位	—	—
合計		30 単位以上		

【履修モデル】

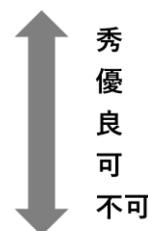


共通科目・全領域の必修科目から 10 単位、コース科目の必修科目から 10 単位、共通科目の選択科目から 6 単位以上、及び研究科目である看護実践課題研究 4 単位の合計 30 単位以上を修得してください。

成績評価

各授業科目の成績は、試験やレポート等の多面的な評価方法により以下の 5 段階で評価され、可以上を合格とします。「秀」「優」「良」「可」以外の評価がなされた科目は、次年度に自動的に履修登録されます。必ず再履修してください。

履修登録状況及び成績は、学生用 WEB サービスで確認してください。学生用 WEB サービスの利用方法は、スタートガイド（p.21～）で確認してください。



既修得単位の認定

教育研究上有益と認められるときは、本学の大学院に入学する前に大学院で科目を履修し修得した単位を、本学大学院に入学後、本学大学院における授業科目の単位とみなすことができます。「大学院で科目を履修し修得した単位」には、科目等履修生として修得した単位も含まれます。

申請方法 | 学務課大学院教育支援係に相談する

研究デザイン発表会

研究デザイン発表会とは、各学生が進めている研究を発表する会です。対象学生・発表方法等は、以下のとおりです。

対象学生 | 看護学専攻博士前期課程第1学年ないし第2学年に在籍中の学生

(発表会参加時期については、指導教員と相談してください)

開催時期 | 毎年2回(8月、2月)

試験方法 | 学生は、自身以外の学生及び教員の前で発表(約8分)、質疑応答(約7分)を行います。

その他 | 開催日程等の詳細については、本学HPや当該時期に届くメールをご確認ください。

本学HP | <https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/information-for-graduates>

(本学HP>教育・学生支援>教育>大学院教務情報)

修了要件・学位授与

看護学専攻博士前期課程の修了の要件は、当課程に2年以上在学し、上記履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格することとします。なお、看護管理コースまたは高度実践コースを選択した者に限り、当該博士前期課程の目的に応じ、適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果をもって修士論文の審査に代えることができます。これらの修了要件を満たした学生には、「修士(看護学)」の学位が授与されます。

また、本学大学院委員会が優れた業績を上げたと認める者については、1年以上の在学期間をもって学位を授与することがあります。

学位審査

看護学専攻博士前期課程に2年以上在学し、かつ、修了要件単位を修得したら(見込みでも可)、当該学位審査に出願してください。

学位審査の詳細(出願方法・日程等)については、本学HPからご確認ください。

<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/application-for-degree>

(本学HP>教育・学生支援>教育>学位申請)

在学期間

標準修学年限は2年です。在学年限は、一般入学者が4年、社会人入学者が6年で、この期間を超えて在籍することはできません。

進級・休退学等

進級

進級は各学年における在学年限を満たしている場合に、年度始め(後期入学者の場合は後期)にのみ認められます。前期入学者の場合、後期に進級することはできません。休学した場合は、次年度は進級できませんが、半期休学の場合には過去の在学状況により進級できる場合があります。

休学

休学を希望する場合は、休学願を提出してください。一度に申請できる休学期間の上限は1年で、もう1年を限度としてその期間を延長できます。休学期間は、通算2年を超えることはできません。なお、休学期間は在学期

間に算入されません。申請した休学期間が終了すると、自動的に復学となります（このとき、復学願の提出は不要です）。ただし、傷病により休学した場合は、医師の診断書を添付した復学願の提出が必要です。

休退学等の手続き期間

休・退学、海外留学、国内留学等、身分異動に係ることについては、受入先機関や本学の関係委員会の承認を得るなどの手続きが必要です。指導教員に相談の上、遅くとも希望日の1ヶ月前には（留学等受け入れ先がある件については、可能な限り早い時期に）申し出てください。

長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度です。

適用申請は1年単位で可能です。この制度を利用した場合、修業年限（修了するために必要な学修期間）は、原則3年となります。在学年限（在学できる最大の期間）は、長期履修制度の利用如何に関わらず4年です。ただし、社会人入学者（在学途中での大学院設置基準第14条特例適用者含む。）の在学年限は6年です。また、授業料は、年額（1年分）を残りの在学期間（2年間）で納付していただきます。

申請方法 | 長期履修申請書〔様式〕と、長期履修規程第2条各号のいずれかに該当することを証明できる書面（在職者は身分証明書や健康保険証の写しでも可）又は理由書を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期 | 春季入学者は1年次2月、秋季入学者は1年次8月の定められた期間のみ。

なお、長期履修制度の適用期間は、6ヶ月又は1年単位で短縮可能です。期間を短縮する場合は、授業料（年額×2年分）から、既に納付済の授業料を減じた額を残りの在学期間に応じて納付していただきます。

申請方法 | 長期履修期間変更申請書〔様式〕を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期 | 2月、8月の定められた期間のみ（ただし、修了予定時期の半年前までに申請すること）。

02 科目・担当教員一覧【2025年度】

研究コース

	: 必修科目
	: 選択必修科目
	: 選択科目

領域／部門	科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域	看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期	2	立岡、河村	NM1-001-2
	看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2
	看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松	NM1-003-2
	看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	荻田	NM1-004-2
	看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2
	外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2
	看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
	看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
	看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
	コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
	看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
	看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
	臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	相見、喜多、伊藤	NM1-013-2
	臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
	臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2
	看護学課題実習	実習	1	通年	2	各指導教員	NM1-016-2
特定行為	疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
	フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
	疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-003-2
	臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
	臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
	特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
	特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
	診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2

領域／部門		科目名	形態 種別	配当 年次	期別	単位数	担当教員	ナンバ リング
生涯発達看護実践科学部門	ウイメンズヘルス看護学	ウイメンズヘルス看護学特論	講義	1	前期	2 2	立岡	NM3-001-3
		ウイメンズヘルス看護学演習	演習	1	後期	1	立岡	NM3-002-3
		周産期看護学演習	演習	2	前期	1	立岡	NM3-003-3
	チャイルドヘルス看護学	チャイルドヘルス看護学特論	講義	1	前期	2 2	予定教員	NM3-004-3
		チャイルドヘルス看護学演習 A	演習	1	後期	1	予定教員	NM3-005-3
		チャイルドヘルス看護学演習 B	演習	2	前期	1	予定教員	NM3-006-3
	NCD看護学	NCD看護学特論	講義	1	前期	2 2	宮松	NM3-007-3
		NCD看護学演習 A	演習	1	後期	1	山口、宮松	NM3-008-3
		NCD看護学演習 B	演習	2	前期	1	宮松、山口	NM3-009-3
	フレイルケア看護学	フレイルケア看護学特論	講義	1	前期	2 2	荻田	NM3-010-3
		フレイルケア看護学演習 A	演習	1	後期	1	荻田	NM3-011-3
		フレイルケア看護学演習 B	演習	2	前期	1	荻田	NM3-012-3
	看護病態管理学 1	看護病態管理学 1 特論	講義	1	前期	2 2	喜多	NM3-013-3
		看護病態管理学 1 演習 A	演習	1	後期	1	喜多	NM3-014-3
		看護病態管理学 1 演習 B	演習	2	前期	1	喜多	NM3-015-3
	看護病態管理学 2	看護病態管理学 2 特論	講義	1	前期	2 2	馬場	NM3-016-3
		看護病態管理学 2 演習 A	演習	1	後期	1	馬場	NM3-017-3
		看護病態管理学 2 演習 B	演習	2	前期	1	馬場	NM3-018-3
ケアシステム看護科学部門	基盤医科学	基盤医科学特論	講義	1	前期	2 2	相見	NM4-001-3
		基盤医科学演習 A	演習	1	後期	1	相見	NM4-002-3
		基盤医科学演習 B	演習	2	前期	1	相見	NM4-003-3
	基盤看護学	基盤看護学特論	講義	1	前期	2 2	笠原	NM4-004-3
		基盤看護学演習 A	演習	1	後期	1	笠原	NM4-005-3
		基盤看護学演習 B	演習	2	前期	1	笠原	NM4-006-3
	ヘルスプロモーション看護学	ヘルスプロモーション看護学特論	講義	1	前期	2 2	伊藤	NM4-007-3
		ヘルスプロモーション看護学演習 A	演習	1	後期	1	伊藤	NM4-008-3
		ヘルスプロモーション看護学演習 B	演習	2	前期	1	興水、伊藤	NM4-009-3
	訪問看護学	訪問看護学特論	講義	1	前期	2 2	辻村	NM4-010-3
		訪問看護学演習 A	演習	1	後期	1	辻村	NM4-011-3
		訪問看護学演習 B	演習	2	前期	1	辻村	NM4-012-3
	精神保健看護学	精神保健看護学特論	講義	1	前期	2 2	河村	NM4-013-3
		精神保健看護学演習 A	演習	1	後期	1	河村	NM4-014-3
		精神保健看護学演習 B	演習	2	前期	1	河村	NM4-015-3
研究科目	看護学特別研究	特別研究		1後-2通年		10	各指導教員	NM8-001-3

高度実践コース
一母性CNS部門

: 必修科目
 : 選択必修科目
 : 選択科目

領域／部門	科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング	
全領域	看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期	2	立岡、河村	NM1-001-2	
	看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2	
	看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2	
	看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2	
	コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2	
	看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2	
	看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2	
	臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	相見、喜多、伊藤	NM1-013-2	
	臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2	
特定行為	疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2	
	フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2	
	疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-003-2	
	臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2	
	臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2	
	特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2	
	特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2	
	診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2	
専門看護師領域	母性CNS	ウイメンズヘルス学特論	講義	1	前期	2	立岡、喜多	NM5-001-3
		ウイメンズヘルス看護学演習	演習	1	後期	2	立岡、一杉、喜多、土川	NM5-002-3
		周産期ハイリスク特論	講義	1	前期	2	立岡、喜多、土川	NM5-003-3
		周産期看護学演習	演習	1	前期	2	立岡、喜多、一杉、辻、柳、土川	NM5-004-3
		母乳看護学	講義	2	前期	1	立岡、梅田	NM5-005-3
		周産期メンタルヘルス学	講義	1	前期	2	立岡、一杉、藤井	NM5-006-3
		リプロダクティブヘルスと看護	演習	1	後期	1	立岡、辻、天野、高橋、梅田	NM5-007-3
		周産期家族看護学	講義	2	前期	1	立岡、土川	NM5-008-3
		女性と暴力	演習	1	後期	1	立岡、一杉	NM5-009-3
		ウイメンズヘルスケア実習	実習	1	後期	2	立岡、一杉、土川	NM5-010-3
		母性看護実践実習Ⅰ	実習	2	前期	4	立岡、喜多、辻	NM5-011-3
		母性看護実践実習Ⅱ	実習	2	通年	4	立岡、喜多、辻、土川	NM5-012-3
周産期看護演習Ⅰ	演習	2	通年	4	立岡	NM5-013-3		
研究科目	看護実践課題研究（母性CNS）	課題研究	2	通年	4	各指導教員	NM8-002-3	

高度実践コース

—特定行為実践部門・周麻酔期看護実践部門

	: 必修科目
	: 選択必修科目
	: 選択科目

領域／部門	科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング	
全領域	看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期	2	立岡、河村	NM1-001-2	
	看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2	
	看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松	NM1-003-2	
	看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	荻田	NM1-004-2	
	看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2	
	外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2	
	看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2	
	看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2	
	看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2	
	コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2	
	看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2	
	看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2	
	臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	相見、喜多、伊藤	NM1-013-2	
	臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2	
	臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2	
特定行為	疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2	
	フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2	
	疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-003-2	
	臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2	
	臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2	
	特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2	
	特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2	
	診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2	
特定行為領域	専門科目	呼吸管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-001-3
		呼吸管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	4	北川	NM6-002-3
		呼吸管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-003-3
		循環管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-004-3
		循環管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-005-3
		循環管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-006-3
		循環管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	4	北川	NM6-007-3
		外科管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-008-3
		外科管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	2	喜多	NM6-009-3
		外科管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	喜多	NM6-010-3
		外科管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-011-3
		栄養管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	馬場	NM6-012-3
		栄養管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	3	馬場	NM6-013-3
		栄養管理学実習Ⅲ	実習	1-2	通年	1	馬場	NM6-014-3
		栄養管理学実習Ⅳ	実習	1-2	通年	2	馬場	NM6-015-3
		栄養管理学実習Ⅴ	実習	1-2	通年	3	馬場	NM6-016-3
		創傷管理学実習Ⅰ	実習	1-2	通年	2	喜多	NM6-017-3
		創傷管理学実習Ⅱ	実習	1-2	通年	1	喜多	NM6-018-3
		感染管理学実習	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-019-3
		精神疾患管理学実習	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-020-3
疼痛管理学実習	実習	1-2	通年	2	北川	NM6-021-3		

※期別…「前期」は4～9月、「後期」は10～翌3月とします。

領域／部門		科目名	形態 種別	配当 年次	期別	単位数	担当教員	ナンバ リング
特定 行為 領域	専門 科目	スキルズラボ演習Ⅰ	演習	1-2	通年	2	北川、馬場	NM6-022-3
		スキルズラボ演習Ⅱ	演習	1-2	通年	2	北川、馬場	NM6-023-3
		看護実践演習（特定行為実践）	演習	1-2	通年	6	北川、馬場	NM6-024-3
	特定行為 実践	特定行為看護特論	講義	1-2	通年	2	各指導教員	NM6-025-3
		特定行為看護演習Ⅰ	演習	1-2	通年	1	各指導教員	NM6-026-3
		特定行為看護演習Ⅱ	演習	1-2	通年	1	各指導教員	NM6-027-3
	周麻酔期 看護実践	周麻酔期看護特論	講義	1-2	通年	2	北川	NM6-028-3
		周麻酔期看護演習Ⅰ	演習	1-2	通年	1	北川	NM6-029-3
		周麻酔期看護演習Ⅱ	演習	1-2	通年	1	北川	NM6-030-3
		周麻酔期看護実践Ⅰ	実習	1-2	通年	3	北川	NM6-031-3
		周麻酔期看護実践Ⅱ	実習	1-2	通年	1	北川	NM6-032-3
			周麻酔期看護実践Ⅲ	実習	1-2	通年	1	北川
研究科目	看護実践課題研究（特定行為実践）	課題研究	1-2	通年	4	各指導教員	NM8-003-3	

看護管理コース

一看護管理領域（看護管理実践部門）

	: 必修科目
	: 選択必修科目
	: 選択科目

領域／部門	科目名	形態種別	配当年次	期別	単位数	担当教員	ナンバリング
全領域	看護学研究方法論Ⅰ	講義	1-2	前期	2	立岡、河村	NM1-001-2
	看護学研究方法論Ⅱ	講義	1-2	後期	2	河村	NM1-002-2
	看護学研究方法論Ⅲ	講義	1-2	後期	2	宮松	NM1-003-2
	看護学研究方法論Ⅳ	講義	1-2	後期	2	荻田	NM1-004-2
	看護学研究方法論Ⅴ	演習	1	通年	2	各指導教員	NM1-005-2
	外国語文献レビュー	講義	1	前期	2	加藤	NM1-006-2
	看護理論	講義	1-2	前期	2	笠原、玉木	NM1-007-2
	看護倫理	講義	1-2	前期	2	笠原、加藤、大北	NM1-008-2
	看護管理学	講義	1-2	後期	2	笠原	NM1-009-2
	コンサルテーション論	講義	1-2	前期	2	河村	NM1-010-2
	看護教育学	講義	1-2	前期	2	玉木、向所	NM1-011-2
	看護政策論	講義	1-2	前期	2	辻村	NM1-012-2
	臨床解剖生理学	講義	1-2	前期	2	相見、喜多、伊藤	NM1-013-2
	臨床薬理学	講義	1	前期	2	馬場、喜多、宮松	NM1-014-2
	臨床診断学	講義	1	前期	2	馬場	NM1-015-2
特定行為	疾病予防学	講義	1-2	通年	2	喜多	NM2-001-2
	フィジカルアセスメント	講義	1-2	通年	2	喜多、荻田	NM2-002-2
	疾病・臨床病態概論	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-003-2
	臨床推論Ⅰ	講義	1-2	通年	2	馬場	NM2-004-2
	臨床推論Ⅱ	講義	1-2	通年	2	北川	NM2-005-2
	特定行為実践論	講義	1-2	通年	2	宮松	NM2-006-2
	特定行為実践演習	演習	1-2	通年	1	宮松	NM2-007-2
	診療看護実践論	講義	1-2	通年	2	辻村	NM2-008-2
看護領域管理	看護管理特論	講義	1-2	前期	2	笠原	NM7-001-3
	看護管理演習Ⅰ	演習	1-2	後期	1	笠原	NM7-002-3
	看護管理演習Ⅱ	演習	1-2	前期	1	笠原	NM7-003-3
	看護実践実習（看護管理実践）	実習	1-2	通年	6	笠原	NM7-004-3
研究科目	看護実践課題研究（看護管理実践）	課題研究	1-2	通年	4	各指導教員	NM8-004-3

03 教員の主な研究内容

2025年4月1日現在

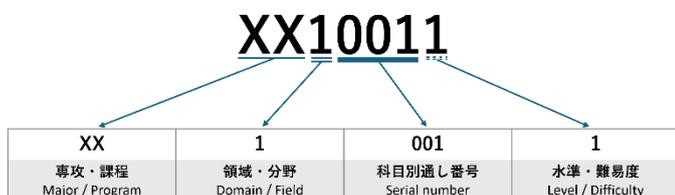
所属	職名	教員氏名/主な研究内容
生涯発達看護実践科学部門 ウイメンズヘルス看護学領域		
	教授	立岡 弓子 1. 乳房ケアのエビデンス 2. 授乳ケア用品の実装開発に関する研究 3. 性暴力に関する研究 4. 分娩予測指標の開発 5. ジェンダーと女性の健康
	講師	土川 祥 1. 女性と社会学 2. 分娩後の骨盤底弛緩に関する研究 3. 妊娠期のメンタルヘルスについての研究 4. 周産期医療における代替医療の効果の検証
生涯発達看護実践科学部門 チャイルドヘルス看護学領域		
		予定教員 —
生涯発達看護実践科学部門 NCD看護学領域		
	教授	宮松 直美 1. 成人期の健康障害と生活環境要因に関する疫学研究 2. 循環器疾患の発症および再発予防に関する研究 3. 非感染性疾患 (NCD) の啓発および療養指導方略の開発と効果検証
	准教授	山口 亜希子 1. 循環器疾患領域の看護実践に関する研究 2. クリティカルケア領域の看護実践に関する研究 3. 患者-看護師間コミュニケーションに関する研究
生涯発達看護実践科学部門 フレイルケア看護学領域		
	准教授	萩田 美穂子 1. 高齢者のフレイル・要介護予防に関する疫学研究 2. フレイルハイリスク集団 (糖尿病・神経難病等) に対する生活機能の維持・向上に関する研究 3. 高齢者の在宅療養移行支援に関する研究
生涯発達看護実践科学部門 看護病態管理学1領域		
	教授	喜多 伸幸 1. 産科危機的出血の診断・治療 (産科DICを含む) 2. アイ・トラッキング法を用いた新しい医学技術の伝承方法の開発
生涯発達看護実践科学部門 看護病態管理学2領域		
	教授	馬場 重樹 1. 間接熱量測定を用いた必要エネルギー量に関する研究 2. 体組成と疾患アウトカムとの関連性に関する研究 3. 炎症性腸疾患の栄養療法に関する研究
ケアシステム看護科学部門 基盤医学領域		
	教授	相見 良成 1. 解剖生理学の教育に関する研究 2. 看護領域の英語の教育・学習法の開発
ケアシステム看護科学部門 基盤看護学領域		
	教授	笠原 聡子 1. 医療および看護ケア実践の質・安全に関する研究 2. ヘルスケアプロセスの可視化と評価・改善に関する研究 3. 看護人材の育成と管理に関する研究 4. 組織・個人におけるストレスマネジメントに関する研究 5. 医療の需給バランスに関する研究
	准教授	玉木 朋子 1. 看護教育に関する研究 2. シミュレーション教育に関する研究 3. EOLステージにあるがん患者、高齢者のQOLに資する研究
	講師	山下 敬 1. 看護技術に関する研究 2. 男性看護師/男子看護学生に関する研究 3. ICTを用いた看護学教育に関する研究
ケアシステム看護科学部門 ヘルスプロモーション看護学領域		
	教授	伊藤 美樹子 1. 要介護高齢者と介護家族の共生に関する研究 2. 生老病死とQOL、有効なライフスキルに関する研究 3. 地域包括ケアシステムに関する研究 4. 主観的健康に関する研究
	講師	輿水 めぐみ 1. 在宅療養者とその家族に関する研究 2. 訪問看護師のキャリア形成に関する研究 3. 新卒訪問看護師の支援に関する研究

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
ケアシステム看護科学部門	訪問看護学領域	
	教授	辻村 真由子 1. 家族看護を基盤とした在宅看護 2. 地域における多職種連携・訪問看護師育成の体制構築に関する研究 3. 在宅ケアロボットの活用に関する研究（国際比較研究を含む）
ケアシステム看護科学部門	精神保健看護学領域	
	教授	河村 奈美子 1. こころの健康に関する研究 2. 精神看護技術教育に関する研究 3. 患者-看護師関係・コミュニケーションに関する研究 4. 発達障害をもつ対象者と家族の看護支援に関する研究 5. 精神疾患を持つ対象者の看護に関する研究

04 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。本学では、次のように科目ナンバリングを構成しています。



●専攻・課程

NM	看護学専攻博士前期課程
ND	看護学専攻博士後期課程

●領域・分野

看護学専攻博士前期課程

1	全領域
2	特定行為
3	生涯発達看護実践科学部門
4	ケアシステム看護科学部門
5	専門看護師領域
6	特定行為領域
7	看護管理領域
8	研究科目

看護学専攻博士後期課程

1	共通科目
2	生涯発達看護実践科学部門
3	ケアシステム創成看護科学部門
4	特別研究科目

●科目別通し番号

3桁 001～

●水準・難易度

1	入門
2	専門基礎
3	専門応用
4	専門総括

05 主な規程等

この冊子に掲載する情報の多くは、滋賀医科大学が定める規程等に基づいています。以下に、代表的な規程等を列挙します。なお、これらの規程等の内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●国立大学法人滋賀医科大学学則

<https://www.shiga-med.ac.jp/~hqqkouhou/files/rules/gakusoku.pdf>
(本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開)

●国立大学法人滋賀医科大学大学院学則

<https://www.shiga-med.ac.jp/~hqqkouhou/files/rules/daigakuinagakusoku.pdf>
(本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開)

●国立大学法人滋賀医科大学学位論文（修士）審査実施要項

<https://www.shiga-med.ac.jp/sites/default/files/2024-09/H00030%E4%BF%AE%E5%A3%AB%E8%AB%96%E6%96%87%E5%AF%A9%E6%9F%BB%E5%AE%9F%E6%96%BD%E8%A6%81%E9%A0%85.pdf>
(本学 HP トップ>教育・学生支援>教育>学位申請)

06 スタートガイド

新入生やることリスト

看護学専攻博士前期課程に入学した学生は、次ページ以降の案内を参考にしながら、以下のリストに挙げられたことを行ってください。なお、*印が付いている項目は、入学式・新入生ガイダンスの日に、全員で行います。当日欠席した場合は、下記の担当部署にて指示を仰いでください。

入学後すぐ
<input type="checkbox"/> メールアドレスを作成する*
<input type="checkbox"/> VPN の設定を行う
<input type="checkbox"/> 研究指導計画書を読む
<input type="checkbox"/> 履修登録を行う
<input type="checkbox"/> 健康診断を受診する< 5月 >
履修届提出後
<input type="checkbox"/> 履修中の科目を確認する
<input type="checkbox"/> 履修登録した科目の担当教員に連絡する
<input type="checkbox"/> 授業に出席する
学期終了後
<input type="checkbox"/> 成績を確認する（学生用 WEB サービス）
必要なとき
<input type="checkbox"/> 各種証明書の交付を依頼する

【担当部署】

- メールアドレスの作成 マルチメディアセンター（附属図書館 1 階）
- 健康診断の受診 学務課学生支援係（一般教養棟 1 階、学務課 4 番窓口）

VPN 接続する

VPN とは、インターネット上に仮想の専用線を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワークのことをいいます。滋賀医科大学の学内ポータルシステムや、e-Learning システムに学外からアクセスするには、以下の案内に従って VPN 接続の設定をする必要があります。

1. VPN サービスの設定を行う

本学マルチメディアセンターによる各種 OS 別の導入マニュアルに従って、設定を行う。

導入マニュアルはこちら：<https://www.shiga-med.ac.jp/mmc/service/vpn/>

(本学マルチメディアセンターHP>VPN サービス>VPN クライアント導入マニュアルと CA 証明書)

※設定について、ご不明な点があれば、マルチメディアセンター（附属図書館1階）までお問合せください。

2. VPN 接続する

1. で設定を行った VPN サービスを起動し、学内ポータルシステム等にアクセスする。

研究指導計画書を読む

研究指導計画書とは、指導教員が学生に対してどのような研究指導を行うか、年間計画を明示するものです。医学系研究科の学生は、毎年度始めに研究指導計画書を確認してください。

1. WebClass にアクセスする

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

The image shows a sequence of steps to access WebClass. It starts with the university's homepage where the 'In-student' link is highlighted. This leads to a menu where 'SUMS e-Learning (VPN required for off-campus access)' is selected. The next screen is the WebClass login page, where the 'WebClass Login' button is highlighted. Below this, a login form is shown with fields for 'User Name' and 'Password'. A text box provides the login credentials: 'User Name: @ before the @ of the internal email address' and 'Password: Same as the password of the internal email address'. A list of links for course management, login/logout methods, and manuals is also visible.

WebClass

学外からのアクセスにはVPNサービスへのログインが必要です。
VPNサービスについては、こちらをご参照ください。

WebClass Login

• コース管理者登録 (授業などでコンテンツを作成する場合)
• ログイン/ログアウト方法
• マニュアル

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

2. 研究指導計画書を読む

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）学生確認欄の順にクリックし、計画書の内容を確認する。

The image shows the process of finding the research guidance plan. It starts with the 'Courses I am participating in' page, where the 'Research guidance plan / Research guidance plan' link is highlighted in the search results. This leads to a page for the 'Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology', where the 'Research guidance plan / Research guidance plan' link is again highlighted. The document title is '生命科学講座 (生物学) 研究指導計画 / Research guidance plan'.

参加しているコース

表示する学期
2024 All

検索

大学院博士課程学生・修士課程学生
全学年

> コンサルテーション論 通年 --
> 生物統計学概論 通年 --
> 看護研究方法論Ⅱ 通年 --
> 研究指導計画書 / Research guidance pla 2024

生命科学講座 (生物学) / Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology

生命科学講座 (生物学) 研究指導計画 / Research guidance plan 更新 実行
 資料
利用可能期間 2024/04/26 12:00 - 2025/03/31 23:59

生命科学講座 (生物学) 学生確認欄 / Student confirmation field 更新 実行
 アンケート
利用可能期間 2024/04/26 12:00 - 2025/03/31 23:59

3. 研究指導計画書の学生確認欄を入力する

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）学生確認欄の順にクリックし、必要事項を入力（回答）する。

※「学生確認欄」への回答を忘れると、研究指導計画書を確認したこととみなされません。

The image shows a screenshot of a web application interface. On the left, there is a sidebar menu titled '参加しているコース' (Courses I am participating in). It includes a search section with '表示する学期' (Display semester) set to '2024' and 'All', and a search input field. Below this is a list of course categories: '大学院博士課程学生・修士課程学生' (Graduate students), '全学年' (All years), and several specific courses like 'コンサルテーション論' (Consultation theory), '生物統計学概論' (Introduction to biostatistics), '看護研究方法論Ⅱ' (Nursing research methodology II), and '研究指導計画書 / Research guidance plan' (Research guidance plan). The '研究指導計画書 / Research guidance plan' item is highlighted with a red box and an arrow.

On the right, a larger window displays the details for the '生命科学講座 (生物学) / Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology'. It lists several items:

- 生命科学講座 (生物学) 研究指導計画書 / Research guidance plan (with '更新' and '実行' buttons)
- 資料 (資料) (with '更新' and '実行' buttons)
- 生命科学講座 (生物学) 学生確認欄 / Student confirmation field (highlighted with a red box and an arrow)
- アンケート (アンケート) (with '更新' and '実行' buttons)

Each item includes a '利用可能期間' (Available period) of '2024/04/26 12:00 - 2025/03/31 23:59'.

履修中の科目・成績を確認する

科目の履修状況や成績は、専用システム「学生用 WEB サービス」で確認することができます。履修登録が完了したとき、成績が確定したときに、学務課から通知メールが届くので、本システムで内容の確認を行ってください。

1. 学生用 WEB サービスにアクセスする

本学 HP>在学生の方へ>学生用 WEB サービス
の順で、学生用 WEB サービスにアクセスしログインする。

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ



2. 履修状況を確認する

トップ>Web 履修申請>履修状況表示（一覧）>成績状況参照の順にクリックし、履修中の科目・成績を確認する。

The screenshots illustrate the following steps:

- Clicking on the 'Web 履修申請' menu item in the main navigation.
- Clicking on the '履修状況表示（一覧）' sub-menu item.
- Clicking on the '成績状況参照' button in the '履修講義' table.
- The resulting '学生カルテ-成績情報' (Student Record - Grade Information) page, which contains the following tables:

学籍番号	氏名	性別

所属	在学区分

学年	セメスター	クラス	出席番号

成績情報	
処理年度	処理学期
入学日	修了予定日

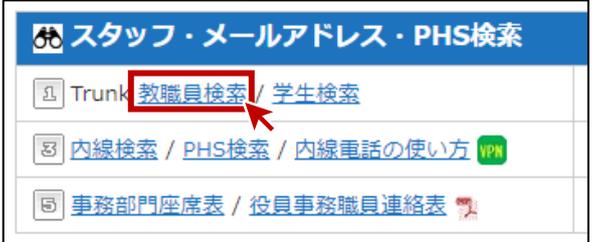
科目分類	科目分野	学則グループ	学則科目	教員名	単位数	評価	年度	開講時期

教員の連絡先を調べる

教員の連絡先は、本学の教職員検索システム「Trunk」で調べることが可能です。Trunk では、教員のメールアドレスだけでなく、その所属や職名も確認することができます。

1. Trunk にアクセスする

本学 HP>在学生の方へ>まるとと滋賀医大（学内専用）の順で、まるとと滋賀医大にアクセスし、スタッフ・メールアドレス PHS 検索>Trunk 教職員検索をクリックする。



※学外からまるとと滋賀医大にアクセスする場合は、VPN サービスを有効にした状態でアクセスしてください。VPN サービスの設定については、「1. VPN 接続する」をご確認ください。

2. Trunk にログインする

ログイン画面が表示されたらログインするし、調べたい教員を、名前や所属で検索する。



ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

■ログイン
ユーザ名
パスワード
ログイン
※ 本学メールアドレスの「メールアドレス」

スタッフ検索 各部署の長 称号授与 学生検索
■現員スタッフ & アドレス検索 【所属>職名>勤務形態>発令日】
出向者を除く 休職者を除く 個人id 氏・名 ·
所属区分 所属部署
称号 職員番号 アドレス
検索 リセット
※職名（職員番号）ごとに1件です。職員数等をカウントする

※外国人教員名で検索する際、姓名が反対に登録されていたり、姓名いづれかにミドルネームが含まれる場合があります。この点を考慮して検索ワードをご入力ください。

オンラインで授業に出席する

医学系研究科看護学専攻の科目のうち、一部の科目は授業を対面・Zoomによるリアルタイム配信・オンデマンド配信を行っています。以下の案内を参考に、授業に出席してください。

1. 授業に出席する【リアルタイム配信】①

本学 HP>教育・学生支援>教育>大学院教務情報の順で、講義室一覧のページにアクセスする。講義室一覧から講義が行われる講義室名をクリックし、Zoom Meetingが開いたら、Googleアカウントでサインインする。

ユーザ名：

学内メールアドレスの@より前

パスワード：

学内メールアドレスのパスワードと同じ

サインイン後、Zoomのメインページが表示されたら、もう一度、講義室一覧中の講義室名をクリックする。

The image is a collage of screenshots illustrating the steps to attend a Zoom lecture. It includes:

- A screenshot of the '講義室一覧' (Lecture Room List) page with '臨床講義室 1・2' (Clinical Lecture Room 1・2) highlighted.
- A screenshot of a Zoom meeting invitation with the 'Zoom Meetingsを開く' (Open Zoom Meetings) button highlighted.
- A screenshot of the Zoom Workplace sign-in page with the 'サインインして参加' (Sign in and join) button highlighted.
- A screenshot of the Zoom mobile app interface with the 'Google' sign-in option highlighted.
- A screenshot of the '講義室一覧' page again, showing '臨床講義室 1・2' and '臨床講義室 3' highlighted.

2. 授業に出席する【オンデマンド配信】

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

メインページ「参加しているコース」内から受けた科目名等をクリックし、受けた授業の動画ページをクリックする。

※WebClassのログイン方法の詳細は、「[研究指導計画書を読む](#)」を参照してください。

The screenshot displays the '参加しているコース' (Courses I am attending) section on the left and a list of course details on the right. In the left sidebar, under '全職員' (All staff), the '大学院講義 (医学総合特論等) (2024-通年)' is highlighted with a red box and an arrow. In the main content area, the course '0423 医学総合特論 I (Basic Science Fundamentals & Multidisciplinary Seminars I) Ethics in Science and its importance' is selected, and its '録画映像 (Recorded video on April 23rd)' link is also highlighted with a red box and an arrow. Below this, the 'Research ethics Apr 23' video is listed with its availability period (2024/04/23 10:30 - 2024/05/10 23:59). Other visible items include '0423 出欠確認レポート (Attendance confirmation report)' and '0513 医学総合特論 I (Basic Science Fundamentals & Multidisciplinary Seminars I) 英文医学論文作成入門 How to write medical papers in English'.

各種手続きを行う

現在の主(副)指導教員を変更するとき、休学・退学したいとき、転居したとき等には、以下の手続きを行ってください。

種類	申請書類	申請期日	申請先
指導教員変更	主(副)指導教員変更願	変更したい日の15日前	学務課 大学院教育支援係
学籍の異動	休学願・休学期間延長願・退学願	別途メールで通知	
	復学願		
学生情報の登録・変更	旧姓名使用願・通称名使用願	変更したい日の15日前	
	改姓名願		
	住所登録等変更届	転居後すぐ	学務課 学生支援係
その他	海外渡航届	渡航開始日の1カ月前	

1. 申請書類を入手する

申請書類(規定様式)を、学務課窓口でもらうか、本学HPからダウンロードする。

様式：本学HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸手続>修学関係の願出、届出等

2. 申請書類を提出する

申請書類に必要事項を記入し、学務課大学院教育支援係(一般教養棟1階 学務課2番窓口)に提出する。

※申請の種類によって、指導教員の押印が必要となります。特に、旧指導教員が退職するときは、お早めに手続きすることをおすすめします。

証明書の発行を依頼する

在学証明書等、教務系の証明書は、学務課に「証明書交付願」を提出することで、交付を依頼できます。交付願提出日から証明書交付までにかかる時間は、通常1営業日です。本学の規定様式で発行する証明書以外のもの（特殊証明書）は、交付願提出日から証明書交付までに5営業日程度かかりますので、時間に余裕をもって依頼してください。

本学の規定様式で発行できる証明書 ※いずれも日本語版・英語版あり

種類	記載事項
在学証明書	入学年月日・専攻名・課程名
学業成績証明書	成績評価（GPAの記載なし）・単位数・履修年度 専攻名・課程名・コース名・入学年月日・修了年月日
修了証明書*	修了年月日・専攻名・課程名
修了見込み証明書	専攻名・課程名（修了予定日の記載なし）
在籍証明書*	在籍期間・専攻名・課程名
学位授与証明書*	学位名・学位記番号・論文題目・学位授与年月日・専攻名・課程名

*印：在学生には交付できない証明書

1. 証明書交付願を入手する

学務課窓口で証明書交付願（規定様式）をもらうか、下記リンク先からダウンロードする。

様式ダウンロードはこちら：

<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/procedures-and-certificates/certificates-for-students>

（本学 HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸証明（在学生）>交付申請様式）

2. 証明書交付願を提出する

証明書交付願に必要な事項を記入し、
学務課大学院教育支援係（一般教養棟1階 学務課2番窓口）
に提出する。

※証明書の種類によっては、別の窓口で提出する必要があります。

※保育園等の申込に使用する就学状況証明書の交付を依頼する際は、指導教員による就学状況証明書もご提出ください。また、就学状況証明書は特殊証明書です。

交付に時間を要しますので、ご注意ください。

※その他、本学の規定様式で発行する証明書以外の証明書の交付を依頼する場合は、あらかじめ学務課大学院教育支援係までご相談ください。

The image shows a detailed form titled '証明書交付願' (Certificate Delivery Request). At the top, there are fields for '発行年月日' (Issue Date) and '学務課' (Academic Affairs Office). Below that, there are fields for '申請者名' (Applicant Name), '学務課番号' (Academic Affairs Office Number), '専攻名' (Faculty Name), and '課程名' (Course Name). The form includes a table with columns for '種類' (Type), '必要が版' (Required Version), '発行' (Issue), '不発行' (Not Issue), '必要が版' (Required Version), and '発行' (Issue). The table lists various certificate types like '在学証明書', '学業成績証明書', '修了証明書', etc. There are also sections for '印' (Stamp), '備考' (Remarks), and '署名' (Signature).